

連載にあたって

藤田克利

独立行政法人製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター (NBRC)

日本微生物資源学会第21回大会中に開催された系統分類シンポジウム「新しい微生物同定のための機器分析, MALDI-TOF MS の利用と展開」(2014年9月4日)において, 当時日本でも普及しつつあったマトリックス支援レーザー脱離イオン化質量分析 (MALDI-TOF MS) による微生物同定の国内外の先駆的研究者による本法の紹介がなされた. あれから5年が経過し, MALDI-TOF MS の普及も臨床分野や食品分野を中心により進んでおり, 安定した結果を出すための知見も各分野で蓄積してきている. より広くカルチャーコレクションや本学会員に本技術の知見を広げるために, 今回 MALDI-TOF MS の連載を企画し基本から応用について数回に渡ってお伝えする予定である. 新しい技術により微生物研究が加速することは, PCR 法と塩基配列決定法 (サンガー法) の開発および DNA シーケンサーの普及により, カルチャーコレクションが自ら収集もしくは寄託を受けた微生物株の同定速度と質が飛躍的に向上したことからも明らかである. また昨今カルチャーコレクションにも効率化が求められてきており, 本法はその一助になるはずである. 本連載を通じて, 今後の本学会およびカルチャーコレクションの発展につながれば幸いである.
